

岩見沢市地域福祉計画を策定

岩見沢市地域福祉計画

市は、子どもも高齢者も、障がいのある人もない人も、だれもが地域で助け合い、支え合いながら、一人ひとりが自分らしく、健康で明るく元気に、充実した生活を送ることができるまちづくりを目指し、平成29年3月に岩見沢市地域福祉計画を策定しました。

人もまちも 元気で健康に

問合せ先 市福祉課総務グループ

地域福祉計画って？

社会福祉法に基づき、地域住民、福祉サービスを提供する事業者、行政などが協力して、地域福祉を推進することを目的として定める計画です。

地域福祉を推進するためには、人口減少、家族・地域社会が変容する中で、さまざまな課題を抱える世帯や、現在の各福祉制度が対象としていない生活課題など、多様化・複雑化するニーズに対応していかなければなりません。そのために地域の人が役割を持ち、支え合いながら、自分らしく活躍できる地域コミュニティを育成し、協働して助け合いながら暮らすことのできるまちの実現を目指します。

計画策定体制

策定委員会

公募委員、福祉関係団体、自治組織などの代表、有識者（17人）

計画案の作成

計画策定に関する必要な事項の調査および検討

資料の提供

意見交換

計画案の提出

意見、要望

岩見沢市

庁内連携会議、行政の関係部門が連携

作成

市民の皆さんから

アンケート調査やパブリックコメントなどで多く寄せられた意見、要望

子どもが安心して暮らせるまちづくりをしてほしいです

福祉の充実や関連する情報の伝達など、人材育成と仕組みづくりが必要

人と人との繋がり、横と横の連携がしやすくなれば、助け合いが容易にできると思います

岩見沢市地域福祉計画

計画期間は、平成29年度から33年度までの5年間

※この他、多くの方から意見、要望をいただきました。ありがとうございました。

計画目標

I 福祉サービスを利用しやすい仕組みづくり

必要なときに必要な福祉サービスの情報を入手し、利用できるようにするとともに、気軽に相談できる身近な相談窓口を設置するなど、福祉サービスを利用しやすい仕組みづくりを進めます。また、市民の皆さんや事業者、市がそれぞれの特色を生かして、サービスを必要としている人の発見に努め、支援へとつないでいくためのネットワークの構築と強化を進めます。

II 地域の社会資源を育む環境づくり
市民の皆さんや事業者、市がそれぞれの役割を認識し、互いに連携、協力して福祉のまちづくりを進めるとともに、災害時においても、必要な手助けやサービスが必要としている人達に行き届くよう、福祉を担う人材や情報、サービスなどの社会資源の充実と環境づくりを進めます。

III 福祉活動への参加が活発な地域づくり

町会・自治会などの地域コミュニティ活動の充実を支援するとともに、広報活動やボランティア活動の支援を通して、地域福祉の理念の普及と共有を図り、市民の皆さん一人ひとりが地域福祉を主体的に捉え、積極的に福祉活動に参加できる地域づくりを進めます。

基本理念 人もまちも元気で健康に

～だれもが、助け合い、支え合いながら、明るく元気に暮らせるまちを実現します～

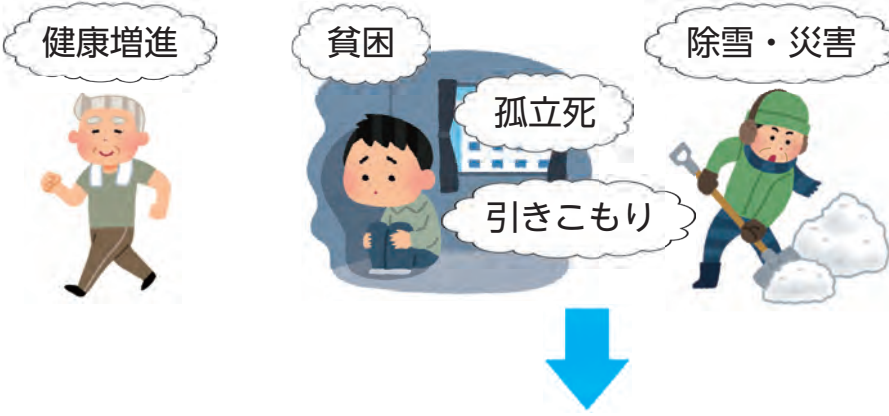
計画目標	基本目標	基本施策・具体的な施策
I 福祉サービスを利用しやすい仕組みづくり	安心して利用できる福祉サービスの充実	身近な相談窓口の充実と福祉情報の提供 ●民生委員・児童委員活動の充実 など 支援を必要としている市民を発見する仕組みづくり ●多機関連携による包括的な支援体制の構築 など
	福祉サービスを確実に提供するための支援の強化	生活困窮者自立支援事業の効果的な実施 ●生活困窮者自立支援事業の実施 など 高齢者等の孤立の防止 ●集いの場づくりの支援の強化 など
II 地域の社会資源を育む環境づくり	安全安心なまちづくりの推進	災害時における避難行動要支援者等への支援の強化 ●避難行動要支援者名簿の作成と適正な利用 など ユニバーサルデザインによるまちづくりの推進 ●ユニバーサルデザインの普及やバリアフリーの推進 など
	地域の福祉を担う人材の育成	福祉事業者の育成と支援 ●岩見沢市社会福祉協議会との連携の強化 など 市民の健康増進 ●健康経営都市の推進 など
III 福祉活動への参加が活発な地域づくり	地域福祉の理念の普及と共有化	福祉教育の推進 ●学校との連携による福祉教育の実践 など 権利擁護及び虐待防止の普及啓発 ●成年後見支援センターの普及と市民後見人の養成の推進 など
	福祉活動への参加の促進	町会・自治会などによるコミュニティ活動の充実 ●地域における見守り活動や防犯活動の推進 など ボランティア活動の普及 ●ボランティア活動の担い手育成の強化 など

実際に、私たち市民にはどんな役割があるのかな？
次のページを見てみよう！



地域のチカラを総動員して

地域福祉を推進していくためには、市民の皆さん、事業者、市がそれぞれの立場で、さまざまな地域での課題解決のために何ができるのかを考え、お互いに連携・協力し、解決策を見つけて行動することが重要です。



市民の皆さんの役割

市民の皆さん一人ひとりが地域福祉についての理解を深めるとともに、人は一人では生きていけず、お互いの協力が必要だという認識を持ち、自分には何ができるのかを考え、共に支え合いながら、自主的な地域活動の実践を通じて地域福祉を実現することが期待されます。

市の役割

市は、本計画に掲げる施策を実施し、地域福祉の推進に努める必要があります。そのために、市民の皆さんおよび事業者の地域福祉に関する活動に対し、その自主性を尊重するとともに、市民の皆さんが主体的に地域活動に参加できるように、岩見沢市社会福祉協議会とも連携し、多様な参加機会や情報の提供など、必要な支援を行います。

事業者の役割

福祉サービスの供給主体として市民の皆さんの多様なニーズに応えるとともに、利用者の意向を十分に尊重し、サービスの質の向上に努め、他のサービスとの連携により、総合的なサービスの提供を行うことが求められます。また、どのようなニーズがあるのかを積極的に把握することも重要です。

市民の皆さん一人ひとりが自分らしく、健康で、明るく元気に、充実した生活を送ることができるまちづくりの第一歩

岩見沢市地域福祉計画は、市ホームページに掲載しているよ！



ホームページ



◇ 岩見沢市地域福祉計画を確実に実施するためには、適切に進捗などを管理する体制が必要です。今回策定した計画（Plan）を市民の皆さん、事業者、市が、それぞれの役割に応じて、具体的な行動や実践活動などを実行に移し（Do）、計画の達成状況や進捗状況について、アンケート調査の実施などにより評価・点検を行い（Check）、評価・点検結果を踏まえ、必要に応じて適宜見直しなどの改善を行う（Act）とった、いわゆる「PDCAサイクル」によって、計画の目的や目標達成に向けた着実な推進に努めていきます。